



戸沢村「幻想の森」

最上エコポリス通信

— mogami ecopolis tsushin —

2024年6月号

山形県最上総合支庁 隔月発行
最新情報はX(旧ツイッター)をご覧ください



知事と若者の地域創生ミーティング in 新庄

5月20日『知事と若者の地域創生ミーティング』が新庄市民プラザで開催されました。知事がその地域の若者達から、若者であるからこそ感じる地域の魅力と可能性、未来への熱い想いや希望などを直接聴いて意見交換するもので、新庄市では7年ぶりの開催となりました。

ミーティングでは、高校生や会社員、教員、農家などの参加者8名が、文化・観光・教育・商工農業・福祉など幅広い分野について、それぞれの活動を通して感じている課題や意見、提案などを率直に発言し吉村知事と意見を交わしました。

地域活動チームで活躍する女子高校生は自分たちが開発したスイーツを紹介し「学生のアイデアをもっと生かしてほしい」と大人達の理解とサポートの充実を求めました。また、農家の男性から「持続可能な農業の実現に日々頑張っていること」の発表があったほか、男子高校生などから「自分が学んだことや能力を生かして働き、定住できる地元にするため幅広い業種企業の誘致」などの要望がありました。

吉村知事は「いろんなアイデアを出し合って取り組めば、自身も幅が広がり成長できる。新庄の良いところは継続し、足りないところは克服し、そして地域も元気になっていく」「県としてできることをお手伝いさせていただきたい」と参加者にエールを送りました。



吉村知事と参加者、山科新庄市長、柴崎最上総合支庁長

知事のいきいき企業訪問

同日、吉村知事はミーティングの前に、テニスウェア、バドミントンウェア等を中心に高機能素材を使用したスポーツウェアを製造している『有限会社イーユー角川工場』を訪れ、高い製造技術を持ち地元根づいた企業の様子を視察しました。

[総務課 29-1360]

最上管内選出県議会議員との意見交換を行いました

5月17日、最上総合支庁において「最上総合支庁 県政懇談会」を開催し、最上地域選出の県議会議員4名の出席のもと、意見交換を行いました。

意見交換に先立ち、柴崎最上総合支庁長が今年度の予算概要などの説明を行った後、東北農林専門職大学・東北農林専門職大学附属農林大学校・県立新庄病院・最上教育事務所の主な取り組みについての説明を行いました。

その後、産業経済部及び建設部の本年度実施予定の事業、東北農林専門職大学の開学にあわせた地域活性化についてなど、各分野にわたって意見交換を行いました。



[総務課 29-1211]

地域へ広がるジモト大学

～新庄・最上ジモト大学コンソーシアム総会～

最上地域では、”高校生が旅立つ前に学ぶコト”をキャッチフレーズに、学校では学べない、地元のヒト・モノ・コトを地域の大人と一緒に学ぶ「新庄・最上ジモト大学」を開校しています。

4月17日、新庄・最上ジモト大学推進コンソーシアム総会を開催し、令和5年度の事業報告や令和6年度の運営方針等について協議しました。

昨年度に引き続き、市町村や企業・団体等が提供するプログラムのほか、「ジモト大学サポーター」である企業・団体等に御支援いただきながら、高校生自らが企画するプログラムも実施予定です。

また、今年度は新たに「高校生、大学生、地域の若者等の交流会」の開催を予定しており、意欲ある若者と地域との新たなつながりづくりについても、力を入れてまいります。

これまで以上に参加の輪を広げ、さらに地域に根ざしたジモト大学となるよう、引き続き、地域一丸となって取り組んでまいります。

[連携支援室 29-1236]



東北農林専門職大学新入生バスツアー2024

見て！食べて！体験して！『最上の魅力を発見・体感しよう！！』

5月11日、今年4月に開学した東北農林専門職大学の新入生を対象にバスツアーを開催しました。このツアーは、今後4年間、学びや生活のフィールドとなる最上地域の魅力を知り、体感することで、最上地域への愛着や地域住民との交流、地域活動への参画につなげていきたいという趣旨で開催しました。

当日は、17名の学生に参加いただき、舟形マッシュルームや金山町の街並み、真室川町の梅Cafe、戸沢村の最上川舟下りなどを巡りました。

舟形マッシュルームでは専務取締役の長澤大輔氏から工場を案内していただき、マッシュルームづくりの工程や加工、地産地消への取り組みなどを説明いただきました。金山町では特産の金山杉を使った板張りの白壁の景観や樹齢300年の杉が並ぶ杉林などを見学しました。

学生からは「最上地域のことを知ることができ、とても魅力的な地域だと感じた」「地域に出て交流したい」との感想が聞かれました。

今後も東北農林専門職大学と地域との連携促進に取り組んでまいります。

[連携支援室 29-1235]



被災者の生活再建を支援 ～石川県被災地へ応援職員派遣～

令和6年元日に発生した能登半島地震から、早くも5カ月が過ぎました。多くの被災地で復旧作業が進められる中、国や各県の調整のもと、被災地の一つである石川県志賀町の復興支援のため職員派遣要請があり、山形県では5月13日～6月1日の間、県職員と市町村職員による支援チーム3班が順次出発しました。

最上総合支庁からは2名が選出され、被災地支援への熱い思いと共に志賀町に向かいました。

被災地では、被災された方々が速やかに住宅の罹災証明を受け、生活再建の支援が受けられるように、被災住宅等を訪問し、被害状況の確認や聞き取りを行う等、家屋の被害認定業務に従事してきました。（5月27日～6月1日）



被災地派遣職員 激励会



現地確認（建物の傾き測定）

[防災安全室 29-1209]

さらに賑わいのある最上小国川に！

4月23日、最上小国川清流未来振興機構（本部長：悪七幸喜さん）の代表者会議が舟形町中央公民館において開催されました。この組織は最上小国川流域の振興を目的として、最上町、舟形町、小国川漁業協同組合、山形県及び流域振興に取り組む団体で構成されています。

会議では、流域の将来像を実現するため策定している「最上小国川清流未来振興計画」に基づく昨年度の事業実績・決算、及び今年度の事業計画・予算について承認を得ました。

また、今後も最上小国川清流未来振興機構が主体となり、流域振興の取組みを継続していくことが確認されました。

今年度も、高校生に地域の清流文化を体験してもらう「鮎釣り甲子園大会」など、様々な事業を実施する予定です。

取組みを通じて、幅広い世代に最上小国川の魅力や価値を広く発信するため、今年度も様々な活動に取り組んでまいります。
[連携支援室 29-1239]



より美しい最上小国川に！

5月9日、最上小国川の環境美化やイメージアップを図るため、最上町赤倉地区から舟形町富長橋付近までの約40kmで「最上小国川集中クリーンアップ大作戦」を行いました。

小国川漁業協同組合、山形県建設業協会最上支部の協力のもと、1,090kgの漂着ゴミを回収することができました。

地元の貴重な資源である清流最上小国川の美しい景観を未来に守っていくために、最も大切なことは「ゴミを捨てない」ことです。



皆様のご協力をお願いいたします。

[連携支援室 29-1239]

最上小国川でテントサウナ！

5月25日、舟形町のアユパーク舟形を会場に、「最上小国川テントサウナ体験イベント」を実施しました。

川沿いにテントサウナを設置し、参加いただいた19名の参加者には、自然豊かな最上小国川を水風呂に見立てたサウナ体験を楽しんでいただき、「ととのって」いただきました。

また、希望者へ舟形町のレストラン「ラ・テール」の特製バゲットサンドを提供したほか、を利用し来場した方へは「E8系山形新幹線つばさデビューオリジナルワイン」をプレゼントしました。

参加者の方からは、「ロケーションがいい」、「また来ます」等のお声をいただき、大変好評でした。



[連携支援室 29-1238]

線路の上を自転車で走る！！ 陸羽西線レールバイク体験イベント

6月1日、2日、陸羽東西線利用促進協議会主催の「陸羽西線レールバイク体験イベント」が開催されました。新庄市のJR升形駅を会場に、全長1kmのレール上をレールバイクで走り、「奥の細道最上川ライン」の愛称で親しまれる陸羽西線からの景色を堪能いただきました。

お子様連れの参加者も多く、普段立ち入ることのできない線路の上を自転車で走ることに大興奮の様子でした。参加者からは、「とても楽しかった」、「貴重な体験ができた」との感想が聞かれ、大変好評でした。



当イベントは、現在営業休止中であるJR陸羽西線の路線を活用し、普段鉄道を利用しない沿線住民のマイレール意識の醸成や、陸羽西線再開時の利用促進の機運醸成を図ることを目的として企画されました。

今後もJR陸羽東西線と沿線地域の活性化に取り組んでまいります。

[連携支援室 29-1238]

漫画ミュージアムがまちなかへ！ 新庄まちなか漫画ミュージアム再開！

国際的有名漫画の作者から今注目の若手作家まで、最上地域は数々の漫画家を輩出しています。そこで、漫画コンテンツを活かしてファンの方が楽しめる場所を作りたいと始まったのが「新庄最上漫画ミュージアム」。昨年度惜しまれつつも休館しましたが、この度、新庄のまちなかに飛び出して「新庄まちなか漫画ミュージアム」として復活しました。

「HUNTER×HUNTER」などで知られる漫画家富樫義博先生の出身地万場町商店街を中心に、新庄市内 23 箇所の店舗や施設でサイン色紙やイラストなどの展示を行っています。

5月11日（土）の開始日は「万場町よろず市」も開催され、再スタートした漫画ミュージアムを多くの方にご覧いただきました。

店舗の方に「漫画ミュージアムを見に来ました」と一声かけていただければ、無料でご覧いただけます。

ぜひ、有名漫画家を育んだ街を歩きながら、作品をお楽しみください。

詳細は最上地域観光協議会 HP をご覧ください。

[観光振興室 29-1311]



展示施設など
詳細はコチラ



Information

第9回最上小国川写真コンテスト 作品募集中！

最上小国川清流未来振興機構では、最上小国川の大切さを再認識し、未来に伝える気運を醸成するため、「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」をテーマに、最上小国川の魅力（流域文化、風景、体験や思い出など）を撮影した写真を募集しています。

- 募集期間：令和6年11月30日（土）まで
- 応募資格：どなたでも応募できます
- 入賞：最優秀賞1点、優秀賞3点程度、入選4点程度、特別賞3点程度、鉄道特別賞1点程度
※賞金及び最上小国川流域の特産品等を贈呈
- 審査結果発表：令和7年1月頃予定

詳しくはHP (<https://seiryu-mogamiogunigawa.jp/>)
をご覧ください。

[連携支援室 29-1239]



▼第8回最優秀賞
「幻想の光跡」



▼第8回優秀賞
「静と動」

新庄・最上をぐるっと巡って「スマホ」でスタンプをゲット MOGAMI ぐるっとデジタルスタンプラリー

アプリ不要、「スマホ」で簡単に参加できるデジタルスタンプラリーを開催します。最上地域全域に 66 カ所のデジタルスタンプスポットが出現！ポイントをたくさん集めて、豪華賞品をゲットしましょう。

- 期間 令和6年8月10日（土）～令和6年11月10日（日）
- 詳細 スタンプは通常スポットのほかに、新庄まつり期間限定スポットや最上川舟下りスポットも出現します。
詳しくは、今後最上地域観光協議会 HP でお知らせします。

[観光振興室 29-1312]

最上地域観光協議会 HP



新庄まつり



最上川舟下り

おいしい適塩ランチをお試ください

減塩でもおいしく食べる工夫をお知らせし、健康な食生活を実践するきっかけとさせていただくため、今年度も最上総合支庁の食堂で年4回、「おいしい適塩ランチ」を提供していきます。



【第1弾メニュー】 (6/19 実施)

- *ぶた肉のおろし玉ねぎの生姜焼き
- *ごはん
- *おくらとかぼちゃのカレー風味みそ汁
- *フルーツ
- *切り干し大根のさっぱりサラダ

【適塩のポイント】

- ・生姜焼きに香味野菜の生姜をたっぷり使用することで、味にアクセントがつけます。
- ・みそ汁に香辛料のカレー粉を加え風味を出すことで、みその量が少なくても満足した味付けになります。



←詳しい作り方はこちらに掲載しております。ぜひご家庭でもお試しください。
今年度の適塩ランチは、9/19(木)、12/19(木)、2/19(水)を予定しております。
食塩控えめでもおいしいランチをぜひお試しください。

[地域健康福祉課 29-1267]

夏場の食中毒にご注意ください！

気温が高くなる春から夏にかけては細菌性食中毒が発生しやすい季節です。

食中毒は飲食店だけでなく家庭でも起きていますので、次の**6つのポイントに注意**し予防しましょう！

1. 食品の購入

- ・消費期限を確認する
- ・肉・魚は分けて包む
- ・保冷剤や氷を活用

2. 家庭での保存

- ・帰ったらすぐ冷蔵庫に
- ・冷蔵庫の中は7割程度
- ・肉・魚はビニールで保存

3. 下準備

- ・タオル、ふきんは清潔なものを使う
- ・冷凍食品の解凍は冷蔵庫

4. 調理

- ・作業前に手を洗う
- ・加熱は十分に行う



5. 食事

- ・食事の前に手を洗う
- ・長時間室温に放置しない

6. 残った食品

- ・小分けにして早く冷ます
- ・再加熱は十分に行う

[保健企画課生活衛生室 29-1261]

適正受診にご協力をお願いします

近年、全国的に救急患者に占める軽症者の割合が増加しており、最上地域でも、緊急性の高い患者の治療に支障をきたすケースが発生しています。

医療機関の適正受診にご協力をお願いします。

詳細はこちら（県ホームページ）

～急な病気やけがに備えて～医療機関を受診する際のお願い

【動画をご覧ください】

<https://www.pref.yamagata.jp/090013/kenfuku/iryo/iji/tekiseijushin.html>



[保健企画課 29-1256]

大麻草・違法な「けし」を見つけたら通報してください

大麻草や、あへんの原料となる違法な「けし」は、法律で所持や栽培が禁止されています。

不正栽培及び自生する大麻草や違法な「けし」を発見した場合は、抜かずに県庁健康福祉企画課か最寄りの保健所へ連絡してください。

●健康福祉企画課

023-630-2332

●最上保健所

0233-29-1257



[保健企画課 29-1257]

～最上地域みんなで子育て応援団～ mocoマルシェ

みんなあつまれ！最上の子どもたち



最上地域みんなで子育て応援団では、7月6日（土）に「moco マルシェ」を開催します。1部のステージイベントでは、子どもたちの発表のほか、未来創造戦士ユメリオンも登場！2部の体験コーナーでは、親子で楽しめる体験ブースをたくさん準備しています。ぜひご家族皆さんでご来場ください。

- ☆日 時 令和6年7月6日（土） 10:00～12:00
- ☆場 所 ゆめりあ 花と緑の交流ひろば（新庄市）
- ☆対 象 0歳～小学生までのお子さまとご家族
- ☆入 場 無料（事前申込み不要）
- ☆内 容 1部：ステージイベント（発表、ユメリオンショー）
2部：体験ブース出展（工作、おもちゃ等）



[子ども家庭支援課 29-1245]

※詳しくは最上地域みんなで子育て応援団サイト「moconet（モコネット）」をご覧ください。
<https://www.stylelinkage.com/moconet/index.php>



歯と口の健康週間について

あなたの歯と口は健康ですか？

口は体の入口であり、食べることや話すことといった日常生活に欠かせない器官です。歯を失ってしまうと、生活に支障が出てくる場合があります。

歯と口を健康に保つことは、全身の健康を維持するうえでとても重要です。生涯にわたって健康な歯と口を保つため、この機会に正しい習慣を身に付けていきましょう。

歯科口腔保健に関する情報は二次元コードから↓



山形県 HP
「歯の健康」

[地域健康福祉課 29-1267]

土砂災害警戒区域の 前倒し点検を実施しました

雪解け時期を迎え、土砂災害の発生が懸念されることから、土砂災害の未然防止および住民の防災意識の向上を目的に、例年、土砂災害防止月間（6月）に実施している点検を前倒しして実施しました。

鶴岡市西目地区の土砂災害を受け、類似した地質等を中心に管内で12箇所を選定し、国土交通省や防災エキスパート、市町村、警察、消防、砂防ボランティアなどと連携して5月9、14日の2日間にわたり点検した結果、対策が必要な箇所や直ちに住民避難が必要な箇所はありませんでした。

今後も点検などにより、土砂災害の防止に努めてまいります。

また、斜面などに異常が発見されましたら、各市町村や総合支庁までご連絡下さい。



[河川砂防課 29-1407]

発行日：令和6年6月18日

発行元：山形県新庄市金沢字大道上 2034

山形県最上総合支庁

総務企画部総務課 総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



X (旧 Twitter)



FB

